

進路だより ～高校卒業後の就職について～

進路指導部 横田 裕美

高校卒業後の進路に迷いが生じた際は、『働く事』に意識を向けてみてはいかがでしょうか。進学後、いずれは職に就き、自身で生計を立てていくことが必要です。高校卒業と同時に、社会人として働く事も皆さんの未来を豊かにします。迷った際は、担任の先生に連絡下さい(^-^)

【進学せず、高卒で就職するという選択】

① 手厚い指導を受ける事が出来ます

高校生から社会人となるため、各企業は、新入社員への手厚い教育や指導を行っています。



② 大卒よりも多くの経験や実績を積む事が出来ます

学歴を問わない企業であれば、高卒でもキャリアアップやスキルアップを目指す事が出来ます。また早く就職する事によって、それだけ経験値があがるため、経験や実績が評価されれば昇進・昇給なども期待できます。

③ いち早く安定した収入を得る事が出来ます

進学費用を気にすることなく、安定した収入を得る事が出来ます。就職する事で福利厚生を受ける事が出来たり、資格取得の費用を企業側で負担したりなど、働く人を応援する内容もあります。



④ 実務経験が必須の資格を早く取得できます

現業系（調理師、介護福祉士、建築・土木関係）の資格は、実務経験1～3年以上の方が受験できます。働きながらいち早く専門資格を取得することで、昇給や資格手当やキャリアアップを目指せます。



【高卒就職するにあたっての留意点】

① 応募できる業種・職種に限りがあります

高卒から就ける業種・職種の選択肢が狭まる事があります。特に、文章処理や法律の知識・OA機器操作が必要な事務職（特に総合職）、教員・看護師のような大学等でしか取れない資格が必須の職種は困難となります。



一方で一般職、営業や販売・現業を中心に、多くの業種・職種の求人が出ていることは確かです。一度求人票をしてみる事をお勧めします。高卒用のハローワークの求人票は当校で閲覧する事が可能です。

★ ハローワーク用の高卒求人の応募は当校を通して行います。各企業の説明会など希望される際は、担任の先生までご連絡下さい。



② 大卒で就職するよりも生涯賃金が低くなりがちです

統計上、大卒者と平均生涯賃金（学校卒業後すぐに就職し、60歳までフルタイム正社員として働いた場合の金額(退職金は除く)）を比べると、低い傾向にあります。

(参考文献：独立行政法人労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計 2022」)

特に、公務員や大企業の場合、同じ職種・雇用期間で比べると、賃金体系や昇給・昇進ペースが大卒者と異なる場合があります。他方、学歴不問・能力給や歩合給の職種では、本人の働き次第となります。

